

目指す学校像	建学の精神「人間是宝」の理想を掲げ、校訓「今日学べ」を推進し、生徒一人一人の内在する可能性を開発するとともに、多様な社会に貢献できる人材を育成する。
--------	--

重点目標	1 学習指導（学力の向上とアクティブラーニングの推進）
	2 生徒指導（担任による日常指導の徹底）
	3 特別活動（学校行事・部活動）

＊重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

＊番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に応じた「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

評価	A	高評価
	B	良 好
	C	概ね良好
	D	要努力

学校関係者	17名
教職員	18名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 （3月）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	●アクティブラーニング型授業を一層推進し、ICT教育を充実させる ●文武両立の進学校を目指し、日本の人材インフラ育成のための学習指導を充実させる	●アクティブラーニングの深化 ●ICT教育の工夫 ●教員の指導力の向上 ●基礎学力の向上 ●家庭学習の充実 ●検定試験の奨励	●アクティブラーニング研修 ●iPadの活用 ●0時限、放課後演習 ●特別指導（通年・夏期） ●PDCA手帳の活用（学習時間の可視化） ●スタディサプリ	●国公立大学・難関大学合格数 ●大学入学共通テスト受験率 ●英検などの検定試験の受験者数	●アクティブラーニング研究推進のため、教員間の授業見学を実施した。 ●iPad活用の研修を実施した。 ●国公立・大学校の合格者は30名であった。	B	●アクティブラーニングの更なる推進を図る。 ●ICT教育への取り組みをより充実させる。 ●教員のさらなる指導力向上を目指す。 ●学習量のみならず、方法論など具体的な指導が必要である。
2	●正しい生活習慣を身につけることにより、高校生としての自覚を持たせる ●基本的生活習慣やマナーについて徹底指導し、社会に有為な人材を育成する	●きめ細やかな生徒指導 ●積極的な面談の実施 ●いじめの防止 ●いじめの早期発見、早期解決	●生徒の生活習慣の把握 ●面談による生徒理解 ●悩み事の早期発見 ●あいさつの励行 ●学年と生徒指導部との連携、情報共有 ●問題行動の事前防止 ●スクールカウンセラーとの情報交換と協力	●生徒の個別状況の把握 ●二者面談、三者面談の積極的な実施 ●アンケート等による早期発見、解決	●生徒との面談を実施。学習・生活面の状況を把握した。 ●家庭と情報を共有し、適切な指導を行った。 ●担任とのコミュニケーションを意識させ、悩みの早期発見を図った。	B	●問題行動への予防や初期対応等を組織的に行うことができた。 ●職員全員で対応し、各部署間での連携を密に行う必要がある。 ●カウンセラーとの連携を取り合っていくことが大切である。
3	●スポーツ文化活動を通して、人間教育をより一層推進する ●関東大会、全国大会に出場させる	●関東大会、全国大会、国際大会出場 ●部活動加入率	●強化指定部活動の充実 ●ガイドラインに沿った適切なスポーツ文化活動の実施	●関東大会、全国大会、国際大会出場部活動数とその成績	●部活動や委員会活動など、生徒が積極的に取り組んでいた。 ●生徒の良好なモチベーションの維持と、その向上に努めている。	B	●道徳講話や多くの講話の機会を増やしてほしい。 ●コロナ禍の中ではあったが、その中で出来る限りの活動を行えるよう考えねばならない。

学 校 関 係 者 評 価
実施日 令和4年2月21日
学校関係者からの意見・要望・評価等
●iPadを活用した学習が定着している。 ●アクティブラーニングによる授業風景を見学させていただきたい。
●PDCA手帳の活用や二者面談などを行っていただくなど、生徒一人ひとりの学びをアシストしてくれている。 ●生徒一人ひとりに声をかけ、積極的に生徒に働きかけてくださり、安心感があり、とても信頼できた。
●制限がある中で、できることを見出し、文化祭では黒板アートを実施した。 ●コロナ禍の中、工夫をしていただき、モチベーションを下げることなく、部活動を続けられた。